

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1年制)	科 目 区 分	応用分野	授業の方法	講義
科 目 名	問題集(中級)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	中村 絵	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。		

《授業科目における学習内容》

N4からの重要ポイントの復習を入れながらN3を復習し、その後、N2に進む。7月の日本語能力試験ではN2合格を目指し、文字・語彙、文法、読解、聴解の問題を数多くこなしていく。能力試験では選択肢があるが、N2レベルまでは漢字の読み書き、読解の解答でも、それに頼らず、自分で答えられるような力もつけ、将来の就職を見据えての力をつける。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験: 70 %
2. 出席率 : 20 %
3. 平常点 : 10 %

《使用教材(教科書)及び参考図書》

日本語能力試験対策問題集、模擬試験
『日本語能力試験対策N2、N3文法』(三修社)『ドリル&ドリルN2、N3、N4』(ユニコム)『JLPT直前対策N2、N3』(国書刊行会)
日本留学試験過去問題(凡人社)など

《授業外における学習方法》

復習をしっかりとしてください。N2の文法を覚えるだけでは、運用力はつきません。特に、N4までの基礎が大切ですので、きっちりと復習をしながら、N3、N2の勉強をしてください。

《履修に当たっての留意点》

選択肢がなくても自分で答えを導き出せるようになってください。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N4、N3レベルの復習	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
	各コマにおける授業予定	N3文法、文字・語彙(1)		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N4、N4レベルの復習	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
	各コマにおける授業予定	N4文法、文字・語彙(2)		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N4、N3レベルの復習	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
	各コマにおける授業予定	N3文法、読解(1)		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N4、N3レベルの復習	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
	各コマにおける授業予定	N3文法、読解(2)		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N4、N3レベルの復習	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
	各コマにおける授業予定	N3聴解(1)		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N4, N3レベルの復習	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N3聴解(2)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N2文法、文字・語彙(1)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N2文法、読解(1)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N3文法、聴解(1)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N2文法、文字・語彙(2)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N2文法、読解(2)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N3文法、聴解(2)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N2文法、文字・語彙(3)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N2文法、読解(3)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N3文法、聴解(3)		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1年制)		科目区分	応用分野	授業の方法	講義
科目名	問題集(中級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担当教員	中村 絵	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			
《授業科目における学習内容》 N4からの重要ポイントの復習を入れながらN3を復習し、その後、N2に進む。7月の日本語能力試験ではN2合格を目指し、文字・語彙、文法、読解、聴解の問題を数多くこなしていく。能力試験では選択肢があるが、N2レベルまでは漢字の読み書き、読解の解答でも、それに頼らず、自分で答えられるような力もつけ、将来の就職を見据えての力をつける。						
《成績評価の方法と基準》 1. 定期試験: 70 % 2. 出席率 : 20 % 3. 平常点 : 10 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 日本語能力試験対策問題集、模擬試験 『日本語能力試験対策N2、N3文法』(三修社)『ドリル&ドリルN2、N3、N4』(ユニコム)『JLPT直前対策N2、N3』(国書刊行会) 日本留学試験過去問題(凡人社)など						
《授業外における学習方法》 復習をしっかりとしてください。N2の文法を覚えるだけでは、運用力はつきません。特に、N4までの基礎が大切ですので、きちんと復習をしながら、N3、N2の勉強をしてください。						
《履修に当たっての留意点》 選択肢がなくても自分で答えを導き出せるようになってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋		間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N2文法、文字・語彙(4)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋		間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N2文法、読解(4)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N2レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋		間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	N3文法、聴解(4)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルへの橋渡しと日本留学試験対策	使用教材から適宜抜粋		間違えた問題の復習
		各コマにおける授業予定	読解、聴読解			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度を確認	使用教材から適宜抜粋		
		各コマにおける授業予定	模擬試験の実施とフィードバック			